## 非小細胞肺癌-29

催吐リスク

非小細胞肺癌(扁平上皮癌を除く) アバスチン+アリムタ メンテナンス療法 患者プロトコール

軽度

<b>投与プロトコール 1コ−ス 21日間 制限なし</b> 《開始時基準 PS:0~2 年齢:18歳以上》		投与量	投与日	投与 時間	備考
ルートkeep	生食 500mL		Day1	_	
プレメディ	5-HT3R拮抗剤+デキサメタゾン+生食100mL		Day1	30分	
1	<b>アリムタ 500mg/m2</b> 生食 100mL	mg	Day1	10分	
2	<b>アバスチン 15mg/kg</b> 生食 100mL	mg	Day1	30分	

- ◆初回投与7日以上前から、パンビタン1g/回/日を連日経口投与。
  - なお、パンビタンの投与を中止又は終了する場合は、アリムタ最終投与日から22日目まで可能な限り投与を行う。
- ◆初回投与7日以上前に、フレスミンS(1mg/1A)筋肉内投与。(フレスミンSは、以後9週間毎投与)
- ◆催吐リスクは軽度に分類されるが、アリムタに嘔気嘔吐がみられるため、前投薬の5-HT3受容体拮抗薬は必要。

佐賀大学医学部附属病院